

# 市長コラム

## ～今こそ地域連帯～

Vol.23



### ★今年も「住民懇談会」を3地域で開催しました！

10月26日から28日までの3日間、金木、市浦、五所川原各地域で住民懇談会を開催しました。

昨年度から、事前に定めたテーマを中心に実施しており、今年度は「ごみの減量とリサイクルについて」というテーマで懇談を行いました。参加者からは「ごみ減量の啓発やマナー向上の注意喚起を積極的に行って欲しい」「学校教育でごみ問題をもっと取り入れるべき」等のほか、テーマの資料を町内会で共有して意識啓発に取り組みたいというご意見もあり、大変心強く感じました。いただいたご意見等を踏まえながら、行政でもできることは実施していきますが、ごみ問題は、一人ひとりの日頃からの意識と実践が重要かつ不可欠です。環境保全と住みよいまちづくりのため、これからも市民の皆さんには、ご理解とご協力をお願いします。

また、昨年度は「自主防災組織」をテーマに行いましたが、期せずして、本年8月、観測史上最大雨量を記録した大雨災害に見舞われ、地域における災害への備えとして「自主防災組織」の必要性を肌身で感じさせられました。

当市の組織率が県内でも低い方であるのは、これまで災害による被害が少なかったということが要因の一つと思われますが、住民生活に甚大な被害を及ぼす災害は、私たちの身に迫る脅威として、しっかりと心に刻まなければならないと実感したところです。

今後も、住民懇談会において、しっかりと課題等を提起し、いただいたご意見等については、その場限りではなく、できることはしっかりと対応するとともに、市民、町内会等のさまざまな主体と行政が地域課題を共有し、役割を分担しながら地域全体でまちづくりを進めていく「市民協働社会」を推進していきたいと思っております。

### ★「ホコ天マルシェごしょがわら」大盛況でした！

10月8日に大町通りで開催された「ホコ天マルシェごしょがわら」は、大変多くの方々にご来場いただき大盛

況でした。ご参加いただいた事業者や団体の方々、そして、開催運営にご尽力いただいた実行委員会の皆さんには、心より感謝を申し上げます。

街を元気にするには、行政主導では成し得ないと思います。今回の「ホコ天マルシェごしょがわら」、また、9月に開催した「キッズフェスタ2022 in 五所川原」も民間の法人や団体の方々が行った実行委員会として一つにまとめ、みんなが主役となって成功を収めた有意義な事例です。

私見になりますが、イベントの継続性や経済性を担保するためには、企画から開催運営まで実行委員会が主体となり、それをサポートするのが行政の役割であると考えています。

これらの取り組みを足掛かりに、今後も個人や団体等が主体となって、それぞれの個性や強みを生かしながら地域を元気づける活動がより一層活発化するよう、行政としてもしっかりとサポートし、市民協働による持続可能な地域社会を構築していきたいと思っています。

### ★地域経済を回す「地域振興券」は残すことなく活用を！

物価高騰等の影響を受ける市民生活を支援するとともに、コロナ禍から影響を受け続ける事業者を支援するため、このほど、当市独自の取り組みとして「五所川原地域振興券」を発行しました。使用できる店舗は、11月7日現在で五所川原地域275店舗、金木地域57店舗、市浦地域13店舗、合計345店舗となっており、たくさんの参加協力に厚くお礼申し上げます。

本事業に際しては、家計の負担軽減にお役立ていただきたいという思いと同時に、地域経済を活性化させたいという願いがあります。発行した地域振興券がすべて活用されれば、約3.5億円規模の経済効果をもたらすことが期待されますので、市民の皆さんには、お手元に残すことなく、すべて有効にご活用いただきますようお願いいたします（3ページ掲載）。



「令和4年度住民懇談会(五所川原地域)」の様子



「ホコ天マルシェごしょがわら」の様子